集中豪雨　台風　土砂災害

“水の災害”から命を守りましょう

7月から9月は、集中豪雨や台風による洪水や土砂災害が発生しやすい時期です。
“水の災害”から自分自身や家族を守るために大切なことをお知らせします。

問 危機管理防災課
☎019-603-8031

警戒レベルは5つあります

水の災害の警戒レベルは全国共通で５段階に設定されています。気象情報や避難行動に関する情報は５段階の警戒レベルに合わせて、テレビなどで提供されます。

警戒レベル1

最新情報に注意

［気象情報］早期注意情報（数日中に警報級の大雨が降るとの予報）
［とるべき行動］防災気象情報などの最新情報に注意し、災害への心構えを高める。

気象から災害まで情報充実
気象情報サイト一覧
各種気象情報は気象庁の公式ホームページを確認してください。
気象庁

警戒レベル2

ハザードマップなどで避難の方法を確認

［気象情報］大雨・洪水注意報、氾濫注意情報
［とるべき行動］避難場所や避難ルート、情報の入手手段、避難のタイミングの再確認など、自らの避難行動を確認する。

洪水浸水想定区域や避難所一覧も分かる
盛岡市防災マップ
平成30年８月に各家庭に配布しました。市公式ホームページでも公開中。積極的に活用し、我が家の防災計画を立てましょう。
盛岡市防災マップ

警戒レベル3

高齢者などは避難！

［気象情報］大雨・洪水警報、氾濫警戒情報
［とるべき行動］高齢者や障がい者、乳幼児のいる人など、避難に時間を要する人は指定緊急避難場所などへ避難する。その他の人は避難の準備をし、自発的に避難する。

警戒レベル4

全員避難！

［気象情報］土砂災害警戒情報、氾濫危険情報
［とるべき行動］危険な場所にいる全員が避難する。隣近所に逃げ遅れがないか声を掛け、みんなが避難。ただし、避難することでかえって身の危険が及ぶような場合は、建物内の、より安全な場所に避難する。

警戒レベル5

命を守る最善の行動

［気象情報］大雨特別警報、氾濫発生情報
［とるべき行動］既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をする。

避難行動を確認！

事前にチェック！

避難場所と避難所を事前に確認しましょう！

市の避難所一覧

指定緊急避難場所は、災害の危険から緊急的に逃れるために指定された場所。一方、指定避難所は、避難した人が浸水や土砂崩れなど災害の危険性がなくなるまで一時的に滞在する場所で、災害発生の恐れが高い地域から順次、開設します。災害発生時は、市公式ホームページやテレビなどで、避難所開設情報を確認してください。

リアルタイムでチェック！

河川などの状況を公開中！

台風や豪雨の際、河川などの増水状況を直接見に行くことは非常に危険です。河川の水位やダムの放流状況はホームページやテレビなどで確認し、避難する判断材料としてください。

▶水位計の活用
市内を流れる河川の増水状況を、リアルタイムに確認できます。
川の水位情報

▶ダムによる「異常洪水時防災操作」
想定以上の雨量によりダムで水を貯められなくなると、ダムに流れ込む水をそのまま放流するため、河川の水位が急激に上昇します。その場合は、早急な避難が必要となります。なお、北上川や雫石川では的確に情報を提供するためダム放流警報設備を強化しました。

北上川五大ダムからのリアルタイム情報

北上川五大ダムからの放流警報音を確認

広報もりおか6月号_準特集.indd 4　2020/05/18 11:38

レベル3 高齢者など レベル4 全員 でアクション！

大雨や洪水発生時の避難行動

災害が起きたときに身を守るためには、住んでいる場所や家族構成などを考慮し、災害の種類に応じた避難などの行動が必要です。大雨や洪水の際の避難のポイントなどをお知らせします。

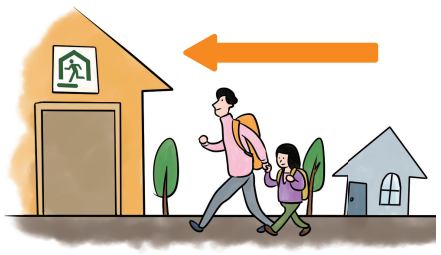
避難とは「難を避ける」こと

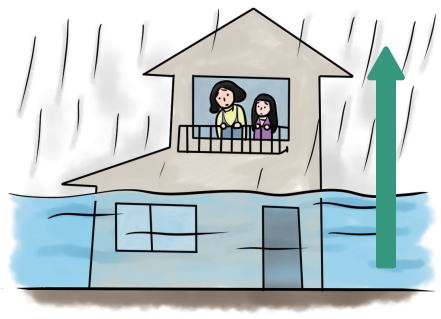
安全な場所にいる人は、無理に避難場所に行く必要はありません。また、避難先は、市が避難場所と指定している施設（小・中学校・公民館など）だけとは限りません。安全を第一に、親戚や知人宅など、状況に応じて安全な場所はどこなのか考えて避難しましょう。

迅速な避難行動のために

警戒レベル３（高齢者など）、**警戒レベル４**（全員）が出たら、速やかに危険な場所から避難しましょう。

逃げる方向は「遠く・高く」





遠くへ逃げる 立退き避難（水平避難）

気象情報や河川の水位情報、避難情報をもとに自分で判断して、浸水や崖崩れなどの心配のない安全な場所に避難します。

高く逃げる 屋内安全確保（垂直避難）

避難が遅れたり、雨や風の影響で外出することがかえって危険になる場合は、自宅や近隣の高い場所へ移動し、安全を確保してください。また、土砂災害の危険がある区域では、屋内でも山や崖と反対側の部屋に避難することが有効です。

屋内にとどまる場合は、その場所が「洪水や崖崩れによる倒壊の危険がないか」「洪水時に浸水する深さより高いところか」などを確認してください。

POINT❶

あらためて確認を！

あなたを守るチェックリスト

災害の種類によって避難先や避難ルートが変わることがあります。家族や近所の人と一緒に、次のことを考えてみましょう。

- ☐ **自宅は、ハザードマップで色が塗られていますか？**
  盛岡市防災マップや地域の防災マップなどで確認してみましょう。色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどに住んでいる人は、雨水がたまりやすい、崖が崩れる恐れがないかなどを確認しましょう。
- ☐ **安全な場所に住んでいて、いざというときに身を寄せられる親戚や知人はいますか？**
- ☐ **身近に安全な場所はありますか？（丈夫な建物の上層階など）**
- ☐ **避難経路は安全ですか？**

POINT❷

家族備蓄は3日分！

ライフラインが止まったときのために、カセットコンロや携帯ラジオがあると便利です。水や食料が不足しないように、最低３日分（１人分の水なら１日３ﾘｯﾄﾙが目安）は備蓄しましょう。

「どうしよう」ではなく「こうしよう」を決めておこう！

マイ・タイムライン

天気予報や市からの連絡は実際の状況に応じて順番が変わることがあります。身の危険を感じる場合は早いうちから避難を開始してください。

	気象情報		わが家は何をする？
	警戒レベル１	早期注意情報（警報級の可能性）	・ ・ ・
雨や風が強くなってきた	警戒レベル２	大雨注意報・洪水注意報 氾濫注意情報	
川から水があふれそう、崖が崩れそう	警戒レベル３相当情報	＿＿＿＿＿川 氾濫警戒情報 ＿＿＿＿＿川 避難判断水位 大雨警報・洪水警報	・ ・ ・
	警戒レベル４相当情報	＿＿＿＿＿川 氾濫危険情報 ＿＿＿＿＿川 氾濫危険水位 土砂災害警戒情報	・ ・ ・
災害発生	警戒レベル５相当情報	大雨特別警報 ＿＿＿＿＿川 氾濫発生情報	・ ・

避難する場所	
どこを通る？	
用意するもの	

メモ

参考例はこちら▶

広報もりおか6月号_準特集.indd 5 2020/05/18 11:38